

創立 30 周年記念誌

～奉仕活動の記憶と記録～

国際ロータリー第2530地区
須賀川ぼたんロータリークラブ



須賀川市歌

山はさみどり	宇津峰の
空にかがやく	平和の光
みのり豊かに	産業興る
希望の都	意気の町
幸あれ永久に	須賀川市



目次

・ 会長あいさつ	第 30 代会長	水上 哲夫	4
・ 来賓ご祝辞			
須賀川市長		大寺 正晃 様	5
須賀川商工会議所会頭		菊地 大介 様	6
RI 第 2530 地区 2024 - 25 年度ガバナー		早川 敬介 様	7
須賀川ロータリークラブ会長		須田 智博 様	8
・ ロータリーの目的・4つのテスト			9
・ 須賀川ぼたんロータリークラブ概要			10
・ 地区奉仕事業			11
・ 青少年交換活動			
・ 県南分区ガバナー補佐経験者			
・ 会員名簿			12
・ クラブバナー			
・ 奉仕活動紹介			13
・ 会員あいさつ			
「私の須賀川ぼたんロータリークラブ」			33
・ 思い出の記録			45



会長あいさつ

国際ロータリー第 2530 地区

須賀川ぼたんロータリークラブ会長

水上 哲夫



須賀川ぼたんロータリークラブは楽しいクラブです。

私は、第 24 代、第 28 代、第 30 代の会長を務めさせていただきましたが、心がけていたことがいくつかあります。

一つは、例会時に会員のできるだけたくさんの人、できれば全員に何か話をしてもらうことです。言い方を変えれば、何もしゃべらずに帰ってしまう会員を極力減らそうと思っています。そこで、ボール例会というやり方を考えました。教育現場などで使われている「哲学対話」の方法を利用しています。ボールを一個用意している人だけが話ができるルールで、時々テーマにあわせて一人三分以内順次話をしてもらいます。時間が余ればボールを要求したり、指名した人にボールを渡すことができます。

二つは、私自身が自分を向上させるため、例会の会長あいさつを工夫したことです。印象にも残るようなあいさつをしようと心がけ、ブログにも残しました。言い方は悪いかもしれませんが新しい素材を使ったスピーチの実験台にさせていただきました。話題はロータリーに限らず、ニュースから気の付いたこと。コミュニケーションについて。趣味の古代中国に関する話題など気の向くままに話をさせていただきました。

三つ目は、見栄を張らないことです。人数も少ないしマンパワーも限られています。「よい歯の笑顔写真コンテスト」では、インターネットメールの申し込みで参加のハードルを下げると同時に受付の手間を小さくしました。審査や発表の過程でも極力無駄な手間を省くように心がけました。また、30 周年において記念式典をとりやめ会員の負担を軽減し一部の事業を縮小しました。

おかげさまで当クラブでは、例会は和気あいあいとして楽しく、活発です。

例会に出席することが楽しいと感じられることはクラブ運営の基本だと思います。こんな楽しいメンバーに巡り合えたことを誇りに思います。会員のみなさますべてに感謝いたしています。

ご祝辞

須賀川市長

大寺 正晃様



賀川ぼたんロータリークラブが、30周年という節目の年を迎えられましたことに
対しまして、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

貴クラブにおかれましては、地域への貢献を目的として平成7年3月の結成以来、
30年の長きにわたり、歴代会長のもと、会員皆様のふれあいと友情の絆を重んじ
ながら、幅広い分野で地域に根ざした奉仕活動を日々展開されております。

特に、小学校などへの図書の寄贈、将来を担う子どもたちに歯を大事にする意識を
高めてもらうことを目的に実施されている「よい歯の笑顔写真コンテスト」、ポリオ
根絶のための募金活動など、ロータリー精神の普及浸透を図りながら、国際社会や地域
社会の健全な発展に貢献されておりますことに対し、衷心より敬意を表する次第であり
ます。

さて、現在、本市では、須賀川市第9次総合計画「須賀川市まちづくりビジョン
2023」に基づき、各種施策を推進するとともに、市民の皆様が安心して暮らし、
希望に満ちた魅力あるまちづくりを進めておりますが、市民の皆様が誇りを持てる
「元気な須賀川市」の実現のためには、会員の皆様をはじめ、市民や各種団体、事業者
の方々と今まで以上に手を携えていくことが大切であると考えております。

貴クラブにおかれましても、30周年の節目を更なる契機とされ、これまで築かれた
経験と実績、信頼のネットワークをもとに地域活性化のため、より一層、お力添えを賜
りますよう期待申し上げますとともに、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、須賀川ぼたんロータリークラブのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、
ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞

須賀川商工会議所会頭

菊地 大介様



このたび、須賀川ぼたんロータリークラブ創立 30 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

平成 7 年の発足以来、青少年事業や各種社会奉仕活動など、長きにわたり「奉仕の理想」のもと、国際親善と地域社会に貢献をされてこられましたことに深く敬意と感謝を申し上げます。

青少年事業として、外国と日本との青少年交換学生事業により、国際交流の推進とともに国際的視野を持った青少年の育成のサポートをしていただいております。また、奉仕活動として、障害児施設・発達支援事業所への絵本の寄贈をはじめ、牡丹園の早朝清掃奉仕、ポリオ撲滅に向けた募金活動、よい歯の笑顔写真コンテストなどを継続的に実施いただいております。特に、東日本大震災からの復興支援活動やコロナ禍の支援活動においては、保育所等への放射線線量計の贈呈や小学校への移動式花壇・保管棚の贈呈、市民・病院への消毒液の贈呈など、その献身的な姿はロータリーアンシップを示すものでありました。

このように、須賀川ぼたんロータリークラブは、須賀川市の象徴である美しい牡丹の如く、地域に根ざし、多様な人々が集い、それぞれの個性と力を活かしながら、社会に貢献する活動を続けてこられましたが、30 年にわたる歴史の中には、様々なご苦労があったことと存じます。改めて、歴代会長の皆様をはじめ、役員、会員の皆様に心から敬意を表するものであります。

須賀川ぼたんロータリークラブが、これからも地域社会のリーダーとして、変化を恐れず、新たな課題に積極的に挑戦し、より良い社会の実現に向けて貢献していくことを確信しております。

結びにあたりまして、須賀川ぼたんロータリークラブの今後の益々の発展と、会員皆様方の更なるご活躍並びにご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞

国際ロータリー 2024-25 年度

第 2530 地区ガバナー

早川 敬介様



この度は「須賀川ぼたんロータリークラブ」創立 30 周年 誠におめでとうございます。
1995 年(平成 7 年)3 月 27 日に創立、同年 4 月 11 日に承認され、30 年が経過いたしました。30 年前の 1995 年といえば、1 月 17 日神戸・淡路大震災が。地下鉄サリン事件が起こった時代でした。バブル経済が終焉し、株価も地価もそれまでのような活況が嘘のように沈滞しました。また、Windows 95 が発売され、インターネット元年と呼ばれた年でもあります。30 年前の小生は、と申しますと 40 代半ば子ども達のためにと PTA 活動に邁進していた時代です。

次代を担う子ども達が成人になる前に、その年代の前を歩んでいる親の世代が環境づくりをすべきではないかと活動していました。特に完全学校 5 日制になる準備段階でした。子ども達の受け皿はどうしたらよいのか 会員と議論をしており、平成 7 年福島県教育委員会に福島県 PTA 連合会として各行政区での「子どもの居場所事業」設置を提案、平成 11 年には文部科学省の施策にもなりました。

また、平成 10 年日本 PTA 全国協議会常務理事の折には中学生のインターンシップ（職業体験）を文部省審議官に提案し、3 年後には「総合的な学習の時間に導入」となりました。このプロジェクトをクラブで発展させることは、「若者の人口流出防止のため」にも必要であることをガバナー公式訪問で申し上げてまいりましたが、福島県教育委員会高等学校教育課長にもお願いし、協力いただける回答をいただいております。

そのような時代に「須賀川ロータリークラブ」をスポンサークラブとして産声を上げられ、「須賀川ぼたんロータリークラブ」としての活動は、この 30 年の間 地域社会の繁栄と発展にも多大な貢献に尽力されましたことは 並々ならぬご努力の賜物であると確信いたします。

貴クラブが 30 年かけて造り上げた奉仕活動は、他のクラブの模範となるものです。

今後も「奉仕の理想」と「親睦友愛の燈火」をいつまでも絶やすことなく、50 周年に向け素晴らしい足跡を継続して行かれますことを衷心より祈念申し上げ、祝辞といたします。

ご祝辞

スポンサークラブ

須賀川ロータリークラブ会長

須田 智博様



2024-25 年度、テーマロゴに 4 色のマジックが飛ぶこの佳き年に周年を迎えられた須賀川ぼたんロータリークラブの皆さま、おめでとうございます。スポンサークラブを代表して心から寿ぎを申し上げます。

ロータリークラブの歴史を顧みると往々にして 4 という数が顔を出します。「ロータリーの目的」には 4 つの項目が掲げられています。4 つのテストは言うまでもありません。そしてそもそもの発祥を辿れば 4 人のロータリアンがシカゴで集った物語に出会うのです。

さて、未来に残す記念誌に頁をいただけるということなので、この不思議な数字に肖ってこの時代のことを 4 つほど書き留めておきます。まず、大谷翔平が紛れもないヒーローとして我々に希望と誇りを抱かせてくれていることを。それからトランプ大統領の大胆な政策により、各国は変化を伴う対応を迫られていること。日本に目を向けると常に災害の危機と隣り合わせで、南海トラフや富士山噴火も予断を許さない状況にあること。人口は減少の一途を辿り、須賀川市も年間の新生児がとうとう 400 人を切ったこと。

そんな中、貴クラブは常に明るい話題を提供し続け、目まぐるしく変わる社会状況の中にスタイルを崩すことなく活動されてきました。各地の地震被害に接しては迅速に義捐金を募り、少ない人数でできる奉仕活動を実践されてきています。まさに地域の奉仕団体としてのロールモデルとして私ども親クラブも常に学ぶところ多く感じています。

1905 年、ポール P・ハリスが仲間たちとたった 4 人で初のロータリー例会を開いてから今年は 120 年の節目の年です。志を同じうする仲間として国際ロータリーの歴史の 4 分の 1 を見事に担い、紡いできた貴クラブに深甚なる敬意を表し、40 周年に向けてますます充実した楽しいクラブを体現されてゆくことを祈念して祝辞といたします。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

第 1 奉仕の機会として知り合いを広めること

第 2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。

第 3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

第 4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

4 つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

須賀川ぼたんロータリークラブ概要

- | | |
|-------------|---|
| 1・区域限界 | 須賀川市 |
| 2・創立総会 | 平成 7 年 3 月 27 日 |
| 3・加盟承認 | 平成 7 年 4 月 11 日 |
| 4・認証状伝達式 | 平成 7 年 6 月 2 日 |
| 5・事務所 | 〒962-0844
須賀川市東町 59-25 須賀川商工会議所内
Tel 0248-72-8822 Fax 0248-72-8668 |
| 6・例会場 | 〒962-0846
須賀川市加治町 5 番 ホテルサンルート須賀川
Tel 0248-76-3333 Fax 0248-76-3339 |
| 7・例会日時 | 毎週 水曜日 12 時 45 分～13 時 45 分 |
| 8・設立会員 | 37 名 |
| 9・現在会員数 | 10 名 |
| 10・特別代表 | 矢部 研也 |
| 11・地域 | 第 1 地域 |
| 12・クラブ ID | 30679 |
| 13・スポンサークラブ | 須賀川ロータリークラブ |



地区奉仕事業

青少年交換学生（受け入れ）

年度	氏 名	国 名	受入学校
1998-99 年度	ロベルト・バスケス	メキシコ	須賀川高校
1999-20 年度	アンドレス・ヴィッペル	オーストリア	須賀川高校
2000-21 年度	エドウィン・チャン	カナダ	須賀川高校
2002-03 年度	タマラ・グラス	カナダ	日大東北高校

青少年交換学生（派遣）

年度	氏 名	国 名	出身校
1998-99 年度	堀江 俊介	スロバキア	日大東北高校
1999-20 年度	河村 奈津希	カナダ	須賀川高校
2000-21 年度	円谷 篤史	アメリカ	須賀川高校
2002-03 年度	畑岡 美保	南アフリカ	日大東北高校
2004-05 年度	村山 琴	カナダ	日大東北高校

米山記念奨学会 奨学生

年度	氏 名	受入大学	出身国
2005-06 年度	徐 震宇	福島大学院	中国 経済学研究科

パスト県南分区ガバナー補佐

2005 - 06 年度	須田 秀幸
2014 - 15 年度	味戸 雄二郎
2022 - 23 年度	郡部 仁喜

須賀川ぼたんロータリークラブ 会員名簿

	氏 名	職業分類	誕生月	入会
A	味戸 雄二郎	ホテル	1957.11 生	2000.08.01
G	郡部 仁喜	料亭	1950.12 生	1997.07.01
K	加藤 健一	新聞社	1968.02 生	2023.04.05
K	栗原 敏郎	食材卸	1954.05 生	1995.03.27
M	水上 哲夫	自動車部品販売	1952.06 生	2007.08.08
O	大内 道男	歯科医	1941.08 生	1995.03.27
S	鈴木 幸一	歯科医	1959.06 生	2017.04.19
W	渡辺 康平	県会議員	1985.08 生	2018.10.10
Y	山本 克司		1939.03 生	1995.03.27
Y	安田 長蔵	書籍販売	1948.09 生	1995.03.27

クラブバナー

クラブバナーの由来



本クラブは、須賀川初のガバナー誕生を記念し、須賀川ロータリークラブをホストクラブとして、当市第3番目のクラブとして設立された。

バナーには、牡丹の花が2輪と、蕾が1つ描かれている。2つの花は、既存のクラブを、蕾はこれから花開こうとしている本クラブを表している。

牡丹は「花の王者」といわれる。大輪の花はその名にふさわしいが、たとえ大輪の花でなくても、ロータリーに新しい風をもたらす、個性豊かな、須賀川の市花の名に恥じないクラブになることを願っている。

下地の青色は大空を示し、本クラブの未来への発展の希望が込められている。

デザインは、郡山女子短期大学部木幡幸子教授による。

奉仕活動紹介



奉仕活動

国際交流茶会

実施時期 1995 年～2006 年

活動場所 1995 年～「須賀川牡丹園」野点茶席を設営し開始
2000 年～須賀川市役所「芭蕉記念館」茶室にて茶会開催

百花の王・牡丹の花咲く 5 月、須賀川牡丹園で「野点茶会」を開催しました。
毎年の会長幹事は、茶道教室で作法・お点前を学びお茶会本番へ備えました。
牡丹園に来園された一般の方へ牡丹園野点席で満開の牡丹の花と抹茶を味わっていただき日本の歴史と文化そして須賀川を愛する心を養うことを目的として開催しました。



2000 年、場所を「芭蕉記念館茶室」へ変更して「国際交流茶会」を開催しました。
お客様に、須賀川市英語指導助手・工場勤務外国人・ガールスカウト子供たちを招待して茶道を学び、楽しみ味わっていただきました。
外国の方々に日本ファンとなり、母国帰国後日本との橋渡しとなることを目的としました。



2015 年開催須賀川ぼたんロータリークラブ創立 20 周年記念式典に於いてもクラブ会員と会員奥様が、斧社中と共に参加者へお茶をサービスをいたしました。ぼたんクラブを代表する奉仕活動です。



奉仕活動

須賀川市内特別養護老人ホーム 3 か所へ

「そば打ち実演・訪問移動例会」

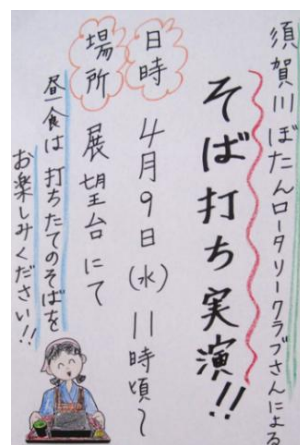
実施時期 1997 年～

活動施設 1997 年「シオンの園」2001 年「愛寿園」2003 年「エルピス」

2019 年「新型コロナウイルス感染症」により中断

2020 年～各養護老人ホームへ タオル 300 枚を贈る

須賀川ぼたんロータリークラブ会員が施設へ伺い会員が入所者の目の前でそば打ち実演そして解説まで行います。入所者そば切り体験もしていただきます。打ち立てそばを、会員が厨房で茹で、みなさんと一緒に食事をします。施設では心待ちにしてくれる活動です。食後に移動例会として、施設長から卓話いただきました。そば打ち慰問は、コロナ感染症により中止となりました各施設から再開を望まれている奉仕です。



奉仕活動

地域貢献活動

実施時期 2005 年・2007 年
活動地域・施設 ふくしま森の科学体験センター「ムシテックワールド」
「エコキャップ運動」世界の子どもたちにワクチンを

「桜の苗木植樹活動」2005 年

須賀川ぼたんロータリークラブ創立 10 周年記念植樹を須賀川市未来博会場跡地ムシテックワールドに子供たちの健康と飛躍を願い 10 本の桜苗木植樹を行いました。桜の成長に合わせて、剪定や草むしりなどの管理作業などを実施しました。



「エコキャップ活動」2007 年～2011 年

エコキャップ運動が開始された 2007 年から、ぼたんクラブは青少年奉仕としてスタートしました。須賀川市内の小学校・施設・幼稚園へキャップ収集の説明をして協力を求めました。集められたキャップはぼたんクラブより神奈川県のエコキャップ協会へ送り世界の子ども救う活動を行いました。須賀川の学校では「エコキャップ運動はぼたんクラブが行っている」と言われておりました。



独自の奉仕活動が行えたことは、ぼたんクラブの特徴であり、誇りであると思います。ぼたんクラブでは実施する奉仕活動が「みんなのためになるかどうか」を会員で考えています。これからも、会員一同一緒になって活動を行っていきたいと思います。

奉仕活動

猪苗代水草回収活動・移動例会

実施時期 2010 年～2014 年

活動地域 猪苗代湖 天神・磐梯山のふもと蕎麦屋さん

「猪苗代水草回収作業」

福島県を代表する猪苗代湖を再び「日本一の水質のよい湖」に戻すために、猪苗代ロータリークラブが行う活動に賛同して水草回収作業に参加しました。

多くの会員が参加しやすいよう回収作業の後に磐梯山で美味しいそばを味わおう「猪苗代湖水草回収と美味しいそばを味わう会」と称し多くの会員と一緒にバスで参加し美味しい蕎麦屋さんへ出かけ親睦と友情を深めてきました。

須賀川市内3ロータリークラブ合同での参加時には、バスに相乗りで参加。水草回収作業後には、合同移動例会を猪苗代の蕎麦屋さんで行いました。



奉仕活動

地域貢献活動

実施時期 2011 年・2015 年

活動施設 放射線線量計寄付 幼稚園・保育所・ろう学校・養護老人ホーム

「放射線線量計の寄贈」2011 年

ぼたんクラブは、札幌北ロータリークラブとタイ王国ロータリークラブとマッチンググラントを実施しました。

子ども・障がい者・高齢者などの弱者のために、震災後で入手困難であった放射線線量計 117 セット(金額 800 万円相当)を寄贈しました。寄贈は、郡山市内保育所(80 箇所)福島県全てのろう学校・盲学校・養護学校の 22 校、須賀川市内特別養護老人ホーム 6 ケ所全ての施設へ贈呈しました。

過去には無かった放射能汚染の危機に対し、望まれるものを速やかに寄贈する「みんなのためになるかどうか」の実践が行うことが出来た活動でした。



「特別養護老人ホームへ車いすの贈呈」 2015 年

そば打ち慰問例会を行っている須賀川市内の特別養護老人「愛寿園」「シオンの園」「エルピス」の 3 施設へ地区補助金を活用して、各施設へ車いすの寄贈を行いました。

各施設と打ち合わせて、必要なものをお聞きして、贈呈することが出来ました。喜びに満ちた奉仕活動でした。



シオンの園



エルピス



愛寿園

奉仕活動

震災復興活動

須賀川第一小学校への援助

実施時期 2012 年～

活動施設 須賀川第一小学校 仮設校舎へ遊具寄贈・書棚寄贈・花壇寄贈

「第一小学校へ移動式花壇と花の苗」

須賀川第一小学校に移動式花壇プランター50鉢と花の苗1,500苗を贈呈し、ぼたんクラブ会員が児童100人と一緒にプランターへ花の苗を植樹しました。

東日本大震災により仮設校舎で勉強する子どもたちの心を癒すことを目的として、また、新校舎完成後でも使用出来るように移動式のプランターとしました。

今年(2025年)4月も、校庭で新小学1年生や、児童たちを元気に見守っています。



「仮設校舎へ保管棚・遊具の贈呈」

札幌北RCと共同での寄贈。倉庫に棚が無く、教材が床に置かれていました。整理用の棚としてスチール棚を贈呈しました。

熊谷東RCと共同で寄贈。校庭に遊具が1つありません。三角鉄棒とバスケットゴールを贈りました。

先生から「休憩時間になると子供たちが鉄棒を使いたくて行列を作ってたっていました。泣きそうになるくらいで感激しました。」と話をいただき望まれる奉仕が出来たと思っています。

寄贈品は、東日本大震災から14年が過ぎても、新しい校舎・校庭で子どもたちのために使用されています。持続的な奉仕活動となりました。



奉仕活動

東日本大震災で被災した第一小学校へ応援活動

「高橋麗秋文庫」創設 2013 年～

元札幌北ロータリーの高橋麗秋様は、震災翌年須賀川第一小学校を訪れて、教頭先生より震災直後の話を聞きました。翌年からは毎年須賀川第一小学校を訪れて、図書券 5 万円分を子供のために贈呈を続け、今年 11 回目の寄贈です。

須賀川ぼたんロータリークラブ会員は、高橋様と共に未来を育むために子供へ贈呈を続けています。

学校司書さんから、子どもたちの希望の本を購入することが出来ていますと感謝をされています。



須賀川第一小学校へ「桜苗木の植樹」 2015 年

須賀川ぼたんロータリークラブ創立 20 周年記念して、2015 年に東日本大震災で被災し建て替えられた校舎の入口と校庭に児童の豊かな心を育むためと第一小学校同窓会と共に桜の若木 27 本の植樹を行いました。

今年も大きくピンクの色の花が咲き、春の爽やかな香が学校中に広がり児童の心を癒しています。

学校に隣接する防災公園に 2018 年県南分区 8 クラブ共同で牡丹の植樹を行い「ロータリークラブ庭園」としました。須賀川市花「牡丹」も元気に咲いています。



奉仕活動

児童発達支援施設へ 須賀川ぼたん RC 文庫を設置

「Xmas 絵本寄贈」「バレンタイン絵本ギフト」

実施時期 2014 年～

活動施設 2014 年「児童発達支援事業所 たけのこ園」

2016 年「児童発達支援事業所 はっぴいチャイルド」

2018 年「児童発達支援プラナの森 ハルニレ園」

「認定こども園 天泉こども園」「栄光こども園」

2025 年 12 年連続「ぼたんクラブ文庫」5 か所へ贈呈

2026 年～「たけのこ園」「はっぴいチャイルド」2 施設へ

障がい児施設・発達支援事業所 5 か所に施設へ設置の「須賀川ぼたんロータリー文庫」へ Xmas の贈り物やバレンタインのギフトとして、12 月 Xmas 例会バザーの収益金とクラブ予算で絵本をプレゼント実施している。活動の特徴は、各施設の先生方に、施設に必要と思える本を、書店で選んでいただきクラブより寄贈するという本当に必要とされている奉仕活動を行っています。



奉仕活動

コロナ感染対策・出来ることをしましょうプロジェクト

次亜塩素酸水を市民へ配布・公立病院寄贈

実施時期 2020年 4月26日

活動施設 須賀川市民交流センター「テッテ」
公立岩瀬病院

「除菌作用のある次亜塩素酸水を市民へ配布」

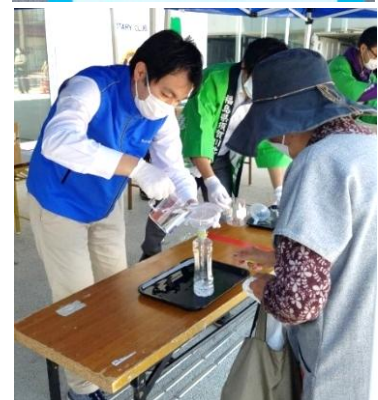
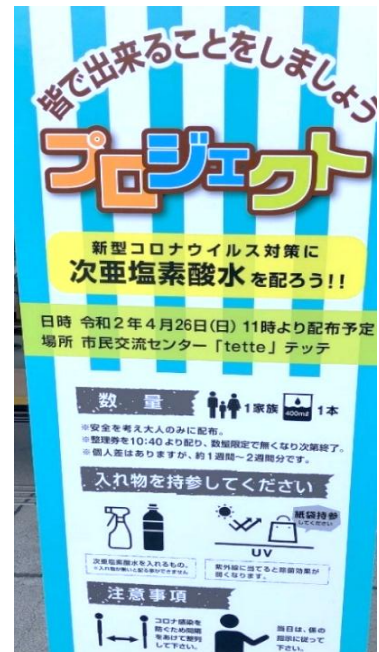
須賀川ぼたんロータリークラブが提唱者となり、中小企業家同友会須賀川支部、料理店組合、旅館料飲部会、ホテルサンルート須賀川と合同で実施しました。

コロナ感染時には消毒液購入が困難であり、購入を望む市民がたくさいました。ぼたんクラブでは、サンルート須賀川の協力を得て、手指に害なくコロナ除菌作用ある次亜塩素酸水を1,000人分(20L×20箱)無料で地域の市民へ配布しました。配布時間を11時からと広報しましたが、時間前に200人以上行列があり、望まれた奉仕と感じました。時事に対応したよい奉仕活動が行えました。

「除菌液・お弁当を公立岩瀬病院へ贈呈」

コロナ対策に全力へ取り組んでいる地域医療病院の「公立岩瀬病院」へ感謝と激励として次亜塩素酸水(20L×5箱)贈呈しました。また医師や看護婦さんへ応援としてお弁当の差し入れを実施しました。

この活動に、病院から感謝状をいただきました。



奉仕活動

ポリオ根絶のための募金活動

実施時期 2020 年～

活動施設 「JA 夢みなみ はたけんぼ」

国際ロータリーの年間活動計画では 10 月 24 日は「国際ポリオデー」です、世界中で活動を実施しています。ぼたんロータリーは、ポリオデーに合わせて須賀川ロータリークラブ・地区青少年交換学生・岩農インターアクトクラブの生徒と合同で「はたけんぼ」にて、ポリオ根絶募金活動を行っています。

国際ロータリーは、35 年以上ポリオを世界から根絶するための活動を続けています。今まで 122 ヶ国・世界 25 万人以上の子どもへ予防接種を行い、ポリオを 99.9%減してきました。世界では野生型ポリオが残っている国は 2 か国となりました。これからも世界からポリオを根絶するための活動を応援します。



奉仕活動

よい歯の笑顔写真コンテスト

実施時期	2020 年 第 1 回	2021 年 第 2 回	2022 年 第 3 回・ 2023 年 第 4 回	2024 年 第 5 回	2025 年 第 6 回開催予定
主 催	須賀川ぼたんロータリークラブ				
共 催	須賀川歯科医師会・国際ソロプチミスト須賀川				
後 援	須賀川市・須賀川商工会議所・民友新聞・民報新聞 マメタイムス社・阿武隈時報社				
活動施設	サンルート須賀川	第 1 次・第 2 次選考会 須賀川市民交流センター テッテ 作品展示・表彰式			

1997 年から実施している「そば打ち実演・移動例会」活動を、新型コロナ感染により休止して、2020 年から地域を明るく元気にするため新しい奉仕活動「よい歯の笑顔写真コンテスト」を開始しました。屋外活動自粛やマスク着用により子供の笑顔が見えない街へ、素晴らしい笑顔を再び取り戻そうの趣旨です。



お父さんお母さんに撮影して頂いたお子さんの笑顔の写真を募集・選考・表彰させていただき、受賞作品を市民交流センターに展示し多くの市民に観ていただきました。小規模クラブでも支障なく実施できるようない、募集は応募の仕方・経費節減を考えて須賀川ぼたんクラブホームページ活用などの運営方法を工夫しました。白い歯の見えるお子さんの笑顔写真にタイトルとメッセージを添えてメール応募いただきました。



普段はマスクをして見えない子どもたちの笑顔は、心を許している家族へ微笑む本当の笑顔でいっぱいでした。応募写真は、ぼたんクラブでカレンダーに作成し、須賀川市長・会議所会頭・歯科医師会会長・ソロプチミスト会長新聞社支社長などの選考委員により最優秀・優秀賞・佳作・入選と多くの選考していただきました。応募作品は、すべてカレンダーに作成し展示を行いました。最終日には、応募者の持ち帰り可能をしました。



須賀川市民交流センターに展示した笑顔写真付きカレンダーは、観る人も穏やかな顔になり、会場は笑顔にあふれており、自分の子ども写真を見て、微笑んでいました。

表彰式にご臨席頂いた、橋本克也市長から2020年に頂戴した「コロナ禍にあっても第1回で終わることなく、街を元気にするために今後も継続実施を望む」というメッセージを励みに、当クラブの社会奉仕事業の柱として継続しています。2024-25年度も第5回コンテストを開催いたしました。



Rotary 須賀川ぼたんロータリークラブ

よい歯の笑顔写真コンテスト

特別賞 (各1名)

任天堂 スイッチ
レゴブロック
ネオ・ペナ

応募期間 10月 1日(木)~11月 1日(日) 到着まで
 展示期間 11月 25日(水)~11月 29日(日)
 表彰式 11月 29日(日)

応募方法

- ・須賀川市・天栄村・銀石町在住の方のみの募集となります。
- ・きれいな歯の写っている笑顔写真をメールで送信してください。
- ・応募者の氏名・連絡先(住所・TEL)・写真タイトル・お子様の年齢・名前を記入してください。
- ・入賞者には お子様の名前で賞状を授与します。(住所等の個人情報は発表しません)
- ・応募は
- ・応募写真
- ・応募は

よい歯の笑顔コンテスト 募集ポスター

Rotary 須賀川ぼたんロータリークラブ

第3回 よい歯の笑顔写真コンテスト

応募期間 令和4年9月23日(金)から10月23日(日) 到着まで

コロナに負けない
笑顔いっぱい!

応募要項

- ・須賀川ぼたんロータリークラブのホームページ (<http://www.sukagawa-botan-rc.org>) 「第3回 よい歯の笑顔写真コンテスト」をご覧ください。
- ・須賀川市・天栄村・銀石町にお住まいの0歳~12歳までのお子様の写真をお待ちしています!
- ・応募・お問合せはメール (egao@sukagawa-botan-rc.org) のみで受け付けます。

賞状

- ・最優秀賞・優秀賞・特別賞・佳作・入賞
- ※副賞として、写真カレンダー・ぬいぐるみ・図書券・ぬいぐるみセット等を贈ります。

発表

- ・11月上旬に須賀川ぼたんロータリークラブのホームページにて発表いたします。

展示期間

- ・令和4年11月28日(月)~令和4年12月4日(日)
- ・会場) 須賀川市民交流センター tette (テッテ) 1階展示スペース

開式

- ・令和4年12月4日(日) 12:00~

主催: 須賀川ぼたんロータリークラブ

須賀川市東町59-25 須賀川商工会館内
 須賀川市農林商研会 ●後援/須賀川市・須賀川商工会議所・福島民報社・福島民友社・メタリス社・阿武隈時報社

No.1

くぜんくん

「はじめての湖水浴、最高!!」

エピソード

生まれてから初めて猪苗代湖に行きました。水に怖がってしまうのではないかと心配していましたが、暑い中の水が気持ちよかったのか最高の笑顔を見せて、私たち親もすごく幸せな気持ちになりました。今年の夏のいい思い出です。



よい歯の笑顔写真コンテスト



選考会の様子



カレンダー付笑顔写真



第5回最優秀賞表彰状





—— 創立30周年記念 家族同伴温泉旅行 ——

日 程 2024 年 10 月 30 日（水）～31 日

1 日目 サンルート須賀川発 ～ 昼食・長沼（割烹阿部） ～ 羽鳥湖
～ 塔のへつり ～ 大内宿 ～ 芦ノ牧温泉宿泊（大川荘）

2 日目 大川荘出発 ～ 会津美里 ～ 御菓園（若松市） ～ 磐梯道
～ 須賀川 IC ～ 昼食・須賀川（芭蕉苑）～解散

須賀川ぼたんロータリークラブは、第 2530 地区の多くのロータリアンの助けをいただき創立 30 周年を迎えることが出来ました。記念式典を開催せずに、本年は 30 周年記念として多くの奉仕活動を行ってまいりました。

事業の 1 つに、会員家族への感謝と親睦を図る家族同伴温泉旅行を実施しました。ロータリアンは、職業人の集まりなので、水曜日 12 時に出発、翌木曜日 12 時には須賀川に戻るという忙しい一泊旅行でした。会津芦ノ牧温泉への旅行でした。参加会員から喜びと満足の声をいただきました。これからも会員一同で地域のためになるそして楽しい奉仕活動を続けていきます。今後も須賀川ぼたんロータリークラブをよろしくお願いいたします。

昼食 長沼町割烹「阿部」で昼食です。新鮮なお刺身・煮つけ・茶碗蒸し・サラダ・コーヒーまで 美味しい昼食でした。ありがとうございました。



塔のへつり 紅葉には早かった。カッコよい写真ばかり？
バスに日本一周しているヒッチハイクの若者も乗せ
大内宿そして芦ノ牧温泉へ
向かいました。



大内宿 会員がそれぞれ何度も訪れている場所ですが、ぼたんロータリークラブの仲間と訪れて新鮮でした。夕方4時頃の到着となり、少し暗く肌寒い大内宿でありました。お土産は、留守番の方へ含め全員に田舎煎餅の詰合せを買いました。早く暖かい温泉へ行きましょう。急いで大川荘へ向かいました。



芦ノ牧温泉 「大川荘」宿泊です。おいしい食事と温泉でリフレッシュしました。宴会会でいろいろなお話をしました。宿泊は、3人部屋で頭を並べ修学旅行気分で寝たことは、楽しい思い出でした。館内にある大階段で外国の方が「毀滅の刃」コスプレで何時間も写真撮影をしていました。



御薬園 会津若松市御薬園を訪問しました。当日は、表千家大会が会津若松市で開催中で御薬園内も散策が限定されていました。結果ボランティアガイドさんの説明を聞きながらゆっくりと見学が出来ました。細かな説明を受け、新たな発見のあった御薬園訪問でした。



義援金活動

世界への義援金活動・能登半島地震への義援金活動

2023年2月「トルコ地震」が発生しました。同国から関東大震災や東日本大震災時では大きな支援をいただきました。トルコ救助隊は、世界で最後まで活動を行った国でした。



2024年4月「花蓮地震」が台湾南部で発生しました。東日本大地震時に、台湾のロータリアンのみでなく、台湾の人たちより、200億円に及ぶ義援金や救助隊派遣などの支援をいただきました。



東日本大震災時に世界のロータリン・日本のロータリアン・世界の人々から暖かい援助をいただいたことが、福島復興への希望となったことは間違いありません。

ぼたんロータリーでは、震災の起こった国へ須賀川市にある団体の垣根を越えて共同して義援金を送る活動を実施しました。参加団体は、ロータリークラブ・ライオンズクラブ・法人会・同友会・飲食店組合・須賀川商工会議所等8団体で合計25万円が集まり地震の発生後の1週間後に送金を行いました。



2024年1月1日「能登半島地震」が発生。多くの方が、3.11を思い起こしたことでした。ぼたんロータリーは、地区お知らせより先に義援金を送金しました。小規模なクラブ故に僅かな金額でしたが、少しでも早い復興のための義援金でした。



東日本大震災時に我々は様々な援助を受けたことを忘れず、迅速な援助を行えた事は、我々が地域に密着したロータリアンであったからだと思います。ロータリアンで良かったと思える時間でした。



2014-15 度県南分区 IM

5月23日開催

県南分区ガバナー補佐

味戸雄二郎

須賀川ぼたんロータリークラブ創立 20 周年と同年でした、ぼたんクラブの事業が多く県南分区の皆様には活動がおろそかになりご迷惑をおかけしました。

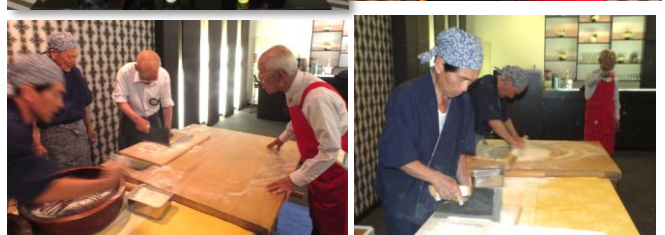
ガバナー補佐としての思い出は分区 IM 開催です。野崎潔ガバナーは「勉強と親睦を大事にしましょう」とのお話でした。須賀川ぼたんクラブは親睦が得意でした。第 1 部の勉強会で、味戸道雄パストガバナーより「ロータリーと日本文化」で講演をいただき、日本文化による世界との繋がりのお話をいただきました。ロータリーは、自分のクラブだけでなく、世界とつながっているのを感じました。

第 2 部の親睦では、須賀川ぼたんクラブ行っている「茶会」と「そば打ち」2つの活動を体験していただきました。ぼたんクラブ会員数は 14 名でしたが、会員と会員夫人で担当を持ち、仲間をお迎えできたことはとても楽しく嬉しいことでした。

第 3 部の懇親会では、IM 参加者を 1 つの県南分区の仲間と考えて、各クラブが 1 つのテーブルではなく、県南 8 クラブの会員が混ざるように着席していただき、親睦を深めていただきました。食事に打ち立て蕎麦を、召し上がっていただきました。忙しい 1 年で迷惑を掛けしましたが、楽しく思い出に残る 1 年でした。



県南分区交流茶会



県南分区そば打ち会



2023-24 度県南分区 IM

3月26日開催

県南分区ガバナー補佐

郡部仁喜

令和6年3月26日に須賀川で県南分区 IM の開催をさせていただきました。式典は、須賀川市長橋本克也様、須賀川商工会議所会頭菊地大介様、そして、国際ロータリー第2530地区佐藤正道ガバナーからご祝辞をいただきました。また県南分区の多くのロータリアンにご参加を頂き貴重な時間を共有させていただきました。

今回のインターシティミーティングは、佐藤正道ガバナー主宰により行われました。佐藤ガバナーより提示された「クラブ活性化」をテーマに進行をいたしました。

第1部では、県南分区クラブ会長より「クラブ行っている奉仕活動報告」をいただき、活動が活性化にどのように繋がっているのかを発表していただきました。他クラブの活動発表を参考にされ、さらに各クラブの奉仕活動が活性化したと思います。

第2部では、「荒中様（前日本弁護士連合会会長）記念講演会」行いました。障がいのある子どもの法的支援とこれを支える人々」の演題で、今後の社会の中で障がい者が孤立しないように支援をしていくことの大切さを参加者で学びました。

第3部懇親会では、インターシティミーティング開催のもう一つの目的でもある会員相互の親睦と友情を深めていただき、実り多き素晴らしい会合になったと思います。今後とも県南分区が力を合わせ、活発な活動を続けていけることを願っております。



—— 私の須賀川ぼたんロータリークラブ ——



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「笑顔で行う 奉仕活動」

味戸 雄二郎



須賀川ぼたんロータリークラブは、30周年を迎えました。

2024-25 年度会員数は 10 名です。他の小クラブと同様に高齢の会員が中心となっています。クラブ内で話し合いを行い、会長・幹事は、出来るものがまいしょうとなり、現在は、水上哲夫会員と味戸雄二郎が会長・幹事の役職を交互に受けています。クラブ組織も、理事会や奉仕活動は全員で行うため奉仕委員会として1つの大委員会とし、5つの奉仕委員会は設けずに奉仕活動を行っています。例会の出席率は、毎回90%を超えています。例会以外の出席をまとめると100%の出席率を誇っています。

須賀川ぼたんロータリークラブは、地域に密着した奉仕活動を行っています。1995年から始まった「国際交流茶会」は、会長・幹事になった者が茶道教室に通いお点前を習ってお客へお茶の接待をする、1997年から28年間続けた「特別養護施設へそば打ち慰問例会」は、コロナ感染拡大時に地域安全のため休止して2020年から「よい歯の笑顔写真コンテスト」を開始しました。2014年から障害のある子どもたちの5施設へ「ぼたんロータリークラブ文庫」本棚を設置し毎年絵本を届ける活動を行っています。

他に「ポリオ撲滅募金」「牡丹園早朝清掃例会」「芋煮会」など外での活動、「観桜会」「Xmas会」など年間6回の家族同伴親睦活動などの活動を、会員や会員夫人の参加で行っています。自クラブや環境変化に合わせて開催時期、活動内容、運営方法を変更するなど、状況に応じた活動の出来るクラブです。

特に親睦例会は須賀川ぼたんロータリーの楽しみの一つです。2か月に一度「夜の家族同伴例会」を開催しています。特に今年は、創立30周年記念旅行として、バスで会津地方を旅してきました。まるで1つの家族のようにゆっくりと楽しむことができました。

ロータリーが、会員の人生で1番じゃなくてよいと思っています。職業や自分の生活を大切にして時間の余裕や参加出来る時に、一緒に笑顔で奉仕活動を続けていければと思っています。今後とも会員と一緒に、楽しみながら、笑顔で行う奉仕を行っていきましょう。仲良く活動しましょう。

よろしくお願いいたします。



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「和気あいあい」

郡部 仁喜



須賀川ぼたんロータリークラブに入会して、30年近くたちました。入会のきっかけを作っていただいたのは、故高野昭雄会員でした。それまでロータリークラブの存在は知っていたものの、詳しい活動内容等はわかっておりませんでした。入会したばかりの頃は仕事から例会に参加することが難しかったですが、参加が出来る度にクラブ内外の方々と交流する機会が増え、いろいろな面で勉強することができました。

ロータリー活動で感動したのは3.11東日本大震災の時、日本や世界のロータリアンから支援・救援の凄さでした。特に明石西 RC 西大條会員が、自家用セスナ機で医療救援物資を福島空港に持ってきて頂いた事は、私自身その場にいてとても感動しました。

須賀川ぼたんロータリークラブとしては、被害の大きかった須賀川第一小学校へ、子供の心の安定を図る意味で花壇寄贈を行いました。また札幌北ロータリークラブから教材や教材を収納するスチール棚等の援助申し込み、熊谷東 RC から仮校舎には1つの遊具も無かったので三角鉄棒・バスケットゴール援助がありました。

地域では、クラブ会員の職業を生かした奉仕活動「よい歯の笑顔写真コンテスト」「障がい児養護施設に設置した須賀川ぼたんロータリー文庫へ絵本寄贈」「特別養護老人ホームそば打ち慰問例会」を行っています。これらの活動は、当クラブに合った活動ではないかと思います。

札幌北ロータリークラブ元会長高橋麗秋様から須賀川第一小学校「高橋麗秋文庫」へ書籍の寄贈も継続しており、大変喜ばしい事です。

このような活動も、会員同士の理解・協力があって、また大勢の方々との繋がりがなければ出来ないことだと思います。これからも須賀川ぼたんロータリークラブ会員の皆様と一緒に「元気で」「和気あいあい」で頑張りましょう！

ニコニコ！



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「4つのテスト」

栗原 敏郎



会費要員の栗原です。

私の職業分類は食材卸業で紅食株式会社といいます。

得意先は栄養士さん・調理師さんが在籍している施設と学校給食を実施しているところが主な取引先になり、現在の主な取扱商品は集団給食用食材と治療用・介護用食品になります。

父から家業を引きついたとき企業の当社の特徴がはっきりしませんでした、業務用食材一般は取り扱っているものの「これだ」と思える商品はなく、企業イメージがぼやけていて強みに掛けていました。当社が無くてもお客様には迷惑をかけることはなく他の同業者に発注すれば済むような会社でした。

当社が無くては困るような企業にしたい、得意先に必要な商品を取りあつかう会社になりたい、地域社会に必要と思われる会社になりたい、などなど多くのことを考えました。

そこには、道徳的、倫理的な指標がどうしても必要だと考えました。

そのような時、高野芳夫さんより半ば強制的に入会させられたのが、「須賀川ぼたんロータリークラブ」でした。そこで出会ったのがロータリーの行動規範である「四つのテスト」でした。

例会にて、全会員で唱和する「言行はこれに照らしてから」「1つ 真実かどうか」「2つ みんなに公平か」「3つ 好意と友情を深めるか」「4つ みんなのためになるかどうか」でした。4つのテストは、会社経営につながるものでした。

以後この「四つのテスト」を心におき会社の決め事を実行しています。



「会長のおはなし それぞれ・・・」

水上 哲夫



2024 - 25 年度会長として「会長のおはなし」を毎回例会の始まりにおはなしをさせていただきます。今回は2つご紹介をさせていただきます。

～三正～お正月の歴史～ テーマ 古代中国

最初の月はなぜこの時期なのでしょう？

古代中国には三正という言葉があります。春秋戦国時代に唱えられたもので、太陽暦ではなく太陰暦の話です。三正とは、夏正、殷正、周正の3つを指しています。いずれも古代王朝の暦である夏暦、殷暦、周暦のそれぞれでの正月の時期のことで、夏歴では立春の月、今の旧正月とほぼ一致します。殷歴ではそのひと月前。周歴はさらにもう一月前、冬至の月になります。太陽の位置だけを見ると周正が一番妥当性があるように見えます。しかし、農作業を開始するという観点からは夏歴が妥当なようで、孔子が論語で「夏の時を行え」と述べています。このせいか儒学が国教となった漢以降は夏歴が主に使われます。ちなみに西洋ではもともと1月と2月には名前がなく（寒くて何もできない時期だったとのこと）、あとから追加された1月の名前につけられたのが Janus（ヤヌス）で門をつかさどる神であったためこの月が年の初めになったとのこと。

～大阪商人和東北人～ テーマ：ダイエー

大阪にいたころ、課長の代理で総務部の朝のミーティングに出たことがある。法務の担当者から、法律の改定があったと報告があり対応を聞かれた。部長は「罰則はあるんか。」といい、「ない」とわかると「そなんほっとけ」といった。

地下商店街で、おいしいといわれる串カツ屋に人がたくさん並んでいても、ガラガラの隣のファミレスに行こうという人はいない。

昔、新しいビジネスの8割は大阪から生まれるといわれた。大阪商人は自分の頭で考え、それを実現しようとする。

東北の人は、お上や偉い人の言うことに従順すぎる気がする。ときどき大阪へ出かけて自分のアイディアを実現しようとする人とその街の雰囲気に触れたほうがいいのではないかとおもう。



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「私のロータリー」

大内 道男



古い資料を探していたら、2015年7月1日の例会あいさつメモが出てきました。創立20周年記念式典の来賓、出席者の皆様からは、「須賀川ぼたんロータリークラブは、明るく、楽しく、なごやかで、心休まるクラブである」、「根底には優しさがある」という言葉をいただきました。また、別の機会に須賀川ぼたんクラブ例会にメーキャップされたゲストからも同様の言葉をいただきました。IMについても「高い評価をいただいた」とあって、奉仕活動について会員の皆様の企画力、組織力、実行力の高さにあらためて敬服しているところです。会員の仲間のひとりとして居心地よく長年所属させていただけたことに感謝しています。

ロータリーについては、勤め始めたころ（須賀川RC創立3年目）から、院長から折に触れて様々な話を聞かせていただいた。例えば、シカゴロータリークラブ誕生秘話の話、ロータリーの名前の由来、会場輪番制、出席率60%以上必要、例会時間の60%以上出席、入会には推薦人が必要、善良な職業上良い世評を受けているか等のため承認まで2週間留保 etc、etc。自分には縁のない世界だと思っていたのですが、地域のロータリーを設立することになり、「世界が狭い、社会を知らない」者にとって一業種一人の様々な職業分野の優れた人たちから学び、人格の向上を目指す良い機会だと大先輩からの指示？で入会させて頂きました。

例会は会員同士が切磋琢磨し人格の向上を目指す場で、「ロータリーは例会で始まり例会に終わる」、「心を求めて例会に至り境地を求めて例会を去る」という言葉あるそうですが、美味しい食事とともに、皆さまの卓話お聞きするのが最大の楽しみでした。

私は、残念ながら話が上手になることは出来ませんでした。技術の問題よりはメンタルの問題でした。皆様との30年に及ぶロータリーのお付き合いをありがたく思っています。



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「私とロータリークラブ ークラブの醍醐味ー」

鈴木 幸一



2024 年度に創立 30 周年を迎えた当クラブにあって、私は、入会してまだ 7 年目の小学 1 年生のようなものですが、そのような私にとって毎週水曜日の例会は実に楽しい会合です。

会員の先頭に立ち例会を企画し、クラブを運営して頂いている会長・幹事・事務局の皆様にはいつも感謝しております。

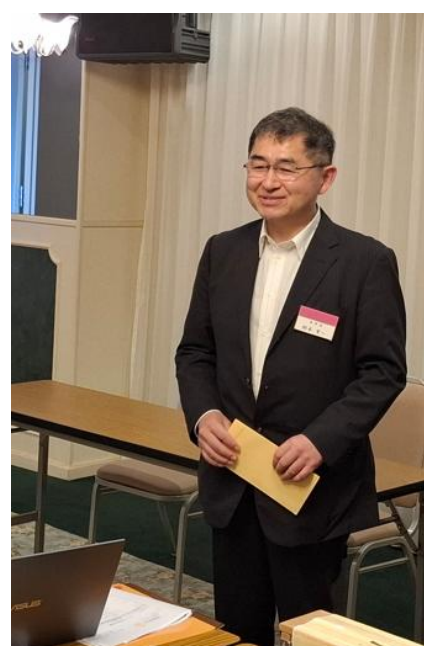
RC 入会するまで私は、職業柄、限られた人たちとのお付き合いしかなかったように思います。それゆえ知らず知らずのうちに、社会人としてすべての面でバランス感覚をやや欠いた人間になっていたように感じます。

様々な職業職種の方が在籍する当クラブの会員の皆さんは、とても個性豊かで人間味のある方々ばかりですが、何よりも惹かれるのはそのお人柄です。例会という限られた時間の中でのお付き合いの方が殆どですが、クラブにあっては私のような小学 1 年生でも、皆さんがお持ちのいわゆる「自利利他」の精神に触れることにより、入会以降、少しずつ自分が良い方向に変容してきたように感じます。微力ではありますが、「4 つのテスト」の理念を念頭に置き、今後も会員相互の親睦を深めつつ、社会奉仕を続けて行きたいと思います。

私事の都合により、クラブの主だった役職から外していただいておりますが、会員として ぼたんロータリークラブに点数をつけるとすれば、会員 1 人あたり 10 点満点（自分も含む）×10 人＝100 点となり、最高点の花丸 100 点満点です。



40 周年へ向けてクラブのご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、会員の皆様には、今後ともお付き合いの程どうぞよろしくお願いいたします。



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「入会して2年が経ちました」

加藤 健一



私は2023（令和5）年4月に、須賀川ぼたんロータリークラブに入会いたしました。2000（平成12）年から、須賀川に赴任した者が当クラブに入会させていただくこととなりました。私は数えまして4人目の入会者となります。入会しまして2年余りしか経っておりませんが、創立30周年の節目を会員の皆さんと迎えられることは大変光栄で感謝申し上げます。

須賀川ぼたんロータリークラブは現在会員10人と少人数でのクラブ運営となっておりますが、「よい歯の笑顔写真コンテスト」や児童施設などへの「須賀川ぼたんロータリー文庫寄贈」、「須賀川牡丹園早朝清掃奉仕活動」、「ポリオ撲滅募金活動」など、地域に根ざした様々な社会奉仕活動を展開しています。

例会においても少人数の良さを十二分に活かし、和気あいあいとした雰囲気の中で充実した時間を会員の皆さんと共有できることが当クラブの最大の特長と感じています。毎回楽しく参加しています。「観桜会」、「クリスマス会」などクラブ主催の各種親睦会も充実しており、昨年実施された「創立30周年記念 家族同伴旅行」は忘れ難く思い出深い旅行会となりました。

我々(私)は転勤などに伴い、入会して数年で入れ替わってしまうため、ロータリーの活動意義や内容などをしっかりと理解できないまま退会となってしまいます。至らぬ点が多数多くあるかと思いますが、今後も会員の皆さんとのコミュニケーションを大切にしながら、様々な形で社会奉仕活動に参加していきたいと思っております。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「ロータリークラブで学んだこと」

渡辺 康平



私が須賀川ぼたんロータリークラブに入会したのは、県議会議員に当選する前でした。郡部さん、安田さんに誘われて入会してから、約5年が経過しています。

最初はロータリーとライオンズの違いも分からず、奉仕団体ってなんだろうというレベルでしたが、例会やIMに参加していくことで、ロータリークラブの活動を学ぶことが出来ました。

須賀川ぼたんロータリークラブは会員数が少ないため、少人数クラブとして活動しています。少人数ながらも、良い歯の笑顔コンテストや牡丹園清掃及び図書のプレゼントなど、様々な活動を行なっています。どの会も会員減少でクラブ人数が減っていますが、少人数は少人数なりに奉仕活動ができることは、須賀川ぼたんロータリークラブで学ばせて頂きました。

水上会長から「昔の様に会員を増やし、規模を拡大していくやり方ではない」という話を伺った際に、少人数クラブは時代の先駆けかもしれないと思った次第です。

今後、少人数でどのような奉仕活動ができるか、メンバーと共に知恵を出し合って行きます。4つのテストに書かれているように、ロータリークラブの活動は「みんなのためになるかどうか」だと思います。社会が変化していく中で、ロータリークラブは須賀川市民の皆さまに、どの様な役割を求められているか、その点を追求していく必要があります。単なる 自己満足の事業にするのではなく、皆さんから喜ばれる事業、ロータリークラブらしい奉仕活動を追求して参ります。

まだ入会歴は浅い私ですが、これからも利他の精神で奉仕活動を実施して参ります。

最後に、常に明るく、前向きな味戸さんを見習って、これからも頑張っていきます！



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「半生はロータリーと 共に生きてきた」

山本 克司



ぼたんロータリークラブ創立時からの会員の一人であります。創立30周年を迎えて振り返れば、何と時の経つは早いものかとしみじみと思います。

創立時には現役で働き盛りだった私も仕事をリタイアし、老いを身に染みて感じる年となり、私の一番充実していた年代をこのクラブと共に過ごしてきたわけです。それだけにぼたんロータリークラブの思い出は多くあり、強い愛着もあります。

第三代会長に推された時の重圧、当クラブで初めて青少年交換をした時のホストファミリーを探す件等、他にもどうしようという悩みも多々ありましたが、会員の皆さんの積極的な協力を得て解決しほったしたこと等々、また須賀川市内の3クラブ合同の牡丹園で開催した国際茶会、他クラブへのメイクアップ訪問等々、東日本大震災では他のロータリークラブの支援を受け、改めてロータリーの素晴らしさを再認識したこと等々大変なこともありましたが私の大きな糧となっています。そして今では、みな楽しい思い出となっております。

クラブ創設から30年の年月を経て創立時には30数名いたメンバーも、都合により退会をされたり、故人となってしまい、現在は、少人数会員のクラブとなりました。

須賀川ぼたんロータリークラブは、それなりの奉仕活動を行っており、何よりも纏まった雰囲気がよくて、私はリタイアをして無職となった今も会員の皆様のご支援を受けながらロータリーと離れられずしております。



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「ロータリアンとして 人との出会いに感謝」

安田 長蔵



ぼたんロータリークラブが創立30周年を迎えました。

30年前須賀川ぼたんロータリー特別代表・初代会長となる、須賀川ロータリークラブの故矢部研也先生から声をかけられたのが私の入会のきっかけでした。

1995年創立した須賀川ぼたんロータリークラブは今日に至っています。この間みんなのためになることをしようとクラブの特性、クラブ事情に合ったものは何かを考え会長・幹事のリーダーの下に奉仕活動を行ってきました。あれから30年経ちましたが、創立した年は私の事業の確立、書店の開業など私の人生の転換期であったと考えております。

この時、年齢は46歳で人生のど真ん中でした。多忙を極めていた時期でありましたが、これからは人のためになることも重要と考えた時期でもありました。そんなときロータリークラブ会員としての奉仕の環境にいられたことに感謝しています。また、ロータリークラブ入会のきっかけと人生に彩を与えてくださった故矢部研也先生、クラブ会員そして多くの方たちの出会いに感謝しています。



私の須賀川ぼたんロータリークラブ

「魅力に満ちたクラブ」

吉田 綾



須賀川ぼたんロータリークラブ創立 30 周年、誠におめでとうございます。

30 年にわたる長い奉仕活動に心から感謝申し上げます。

2005－06 年度から事務局を勤めさせていただき、来年度で 20 年目を迎えます。

こうして長きにわたり事務局を続けることができたのも、須賀川ぼたんロータリークラブの会員の方々のおかげです。

ぼたんロータリークラブの例会は、とてもアットホームな雰囲気、事務局も同じテーブルで食事をしたり、時には例会に参加して意見を述べなければならないことも多々ありました。私もロータリーの会員になった気持ちにさせていただきました。

例会は私にとって「学びの場」でもあります。学びといっても、学問的なことではありません。幅広い年齢層の多種多様なロータリアンが、それぞれの社会経験、人生経験の中で培ってきた考え方や哲学に触れることで、本当に多くのことを学ばせていただきました。

プログラムには、ディベートやボール例会があり、ボールが渡ってきたらその時の「お題」について意見を言わなければなりません。正直、とても苦手でした。必ず「綾ちゃんも何か話さなくちゃダメだよ」と味戸さんが言うんです。最初の頃の 3 分の持ち時間は「魔の時間」に感じました。今でも人前で話をするのは苦手ですが、うまく話す必要はなく、聞き手に自分の意見や気持ちを伝える表現力が身に付き、「聞くこと」は「話すこと」と同じくらい、時にはそれ以上に重要なスキルを学ばせていただきました。

須賀川ぼたんロータリークラブは、10 年にも及ぶ「ぼたん文庫」、そして 5 年目を迎えた「よい歯の笑顔写真コンテスト」が継続事業であります。これらの事業の共通点は、子供たちの「笑顔」です。

その場がほっこりと癒やされ、参加者全員が思わず笑顔になるすてきな継続事業となっています。

須賀川ぼたんロータリークラブは小さなクラブですが、私にとって大きな学びと気づきを得ることができる魅力に満ちたクラブです。



—— 思い出 ——





認証式伝達式

1995 年 6 月 2 日

1997-98 年度
県南分区 IM
1998 年 3 月 15 日



創立 10 周年
記念式典

2005 年 4 月 10 日

創立 20 周年
記念式典
2015 年 4 月 4 日



創立 30 周年
記念例会

2025 年 6 月 25 日









物故会員：生涯ロータリアンであった友人

—— 心よりご冥福を申し上げます ——

深谷春男氏	平成 18 年 9 月	70 歳
矢部研也氏	平成 19 年 2 月	81 歳
渡辺徳雄氏	令和 2 年 2 月	77 歳
高野芳夫氏	令和 6 年 3 月	93 歳



ぼたんロータリークラブのホームページはこちら

<https://sukagawa-botan-rc.org/>



30 周年記念誌の PDF はこちらから

<https://sukagawa-botan-rc.org/images/30thAnniversary.pdf>



第 2 回よい歯の笑顔写真コンテスト 優秀賞の表彰式動画

https://sukagawa-botan-rc.org/images/2ndYoiha_3.mp4



奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の生業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄よ

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン

おゝロータリアン

須賀川ぼたんロータリークラブ

事務所

〒962-0844

須賀川市東町 59-25

須賀川商工会議所内

